

整理番号	エコクリーンOH06 20KG/BL	作成日	2001年5月18日
2201-05	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月2日

Ver. 11.08

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	エコクリーンOH06 20KG/BL
製品コード	2201
会社名	横浜油脂工業株式会社
住所	横浜市西区南浅間町 1-1
担当部門	技術開発部
担当者	永富和哉
電話番号	045-311-4701
FAX番号	0463-89-1330
緊急連絡の電話番号	045-311-4704
獎励用途及び使用上の制限	空調冷却水系のスライム、軟質スケールの洗浄・除去
作成日	2001年5月18日
改正日	2016年2月2日
整理番号	2201-05

2. 危険有害性の要約

GHS分類

酸化性液体	区分 3
急性毒性（経口）	区分 4
急性毒性（吸入）	区分 4
皮膚腐食性／刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分 1
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分 1
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分 2
水生環境有害性（急性）	区分 3

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類出来ない

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語

危険

整理番号	エコクリーンOH06 20KG/BL	作成日	2001年5月18日
2201-05	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月2日

Ver. 11.08

危険有害性情報

- 火災助長のおそれ：酸化性物質
- 飲み込むと有害
- 吸入すると有害
- 重篤な皮膚の薬傷・目の損傷
- 重篤な眼の損傷
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- 呼吸器、中枢神経系の障害
- 長期にわたる、または反復暴露による肺の障害
- 長期にわたる、または反復暴露による血液の障害のおそれ
- 水生生物に有害

3. 組成、成分情報

- 化学物質
 - ・混合物の区別
 - ・混合物

成分名／化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法
過酸化水素	5	7722-84-1	(1)-419

PRTR法報告物質

非該当 該当物質は含有しない。

毒物及び劇物取締法

非該当 該当物質は含有するが、規定量以下ため非該当。

労働安全衛生法

通知物質：法第57条の2、施行令18条の2別表第9 名称等を通知すべき有害物質

制令番号	物質名	含有量
126	過酸化水素	5%

有機溶剤中毒予防規則

非該当 該当物質は含有しない。

4. 応急処置

大量に吸入した場合

- ・吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。
- ・呼吸していくて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
- ・呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
- ・吸入の影響が遅れて現れることがある。
- ・上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。

整理番号	エコクリーンOH06 20KG/BL	作成日	2001年5月18日
2201-05	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月2日

Ver. 11.08

皮膚に付着した場合

- ・直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着した部分をよく洗うこと。
- ・汚染した衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。
- ・直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。
- ・水で洗浄したのちに衣類が皮膚に張りついている場合は、無理にはがしてはならない。
- ・洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと皮膚障害を生ずるおそれがある。
- ・直ちに医師の診断を受けること。

目に入った場合

- ・清浄な水で最低15分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
- ・洗浄後、医師の診断を受けること。
- ・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受けること。
- ・洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の障害を生ずるおそれがある。

飲み込んだ場合

- ・直ちに水で口の中を洗浄する。
- ・直ちに医師の診断を受けること。
- ・無理に吐かせないこと。
- ・子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。
- ・必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。

最も重要な兆候及び症状

- ・情報は得られていない。

応急措置をする者の保護

- ・救助者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項

- ・特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療する。
- ・具体的な治療法が明確でない時は、日本中毒情報センター又は大学病院情報センターへ連絡する。

5. 火災時の措置

消火剤

- ・一般火災の場合：水
- ・有機溶剤や油脂が混在する場合：泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス消火器

火災時の特有の危険有害性

- ・加熱分解により発生する酸素ガスが周囲の可燃物の燃焼を助け、火災を激しくするので注意が必要である。（支燃性がある）

特有の消火方法

- ・消火作業は、可能な限り風上から行なう。
- ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
- ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

整理番号	エコクリーンOH06 20KG/BL	作成日	2001年5月18日
2201-05	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月2日

Ver. 11.08

消防を行う者の保護

- ・消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
- ・消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・屋内の場合は、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
- ・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
- ・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
- ・風上から作業し、風下の人を退避させる。
- ・着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- ・こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
- ・作業の際には保護具(必要に応じてガスマスク)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
- ・多量の場合、人を安全に待避させる。

環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収、中和

- ・少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取り、密閉できる空容器に回収する。
- ・大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- ・酸性の製品なので、必要があればアルカリ(ソーダ灰、消石灰等)で中和する。
- ・回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止法

- ・漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱いは、屋外または換気のよい場所で行う。
- ・取り扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。
- ・取り扱い後はよく手を洗うこと。

整理番号	エコクリーンOH06 20KG/BL	作成日	2001年5月18日
2201-05	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月2日

Ver. 11.08

保管

安全な保管条件

- ・製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。
- ・容器を密栓すること。
- ・日光から遮断し、40°Cを超える温度に暴露しないこと。
- ・施錠して保管すること。
- ・アルカリと一緒に保管してはならない。

安全な容器包装材料

- ・ポリエチレン製容器
- ・取扱い及び保管にあたり、分解を促進する材質を使用してはならない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- ・蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
- ・屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。

記載の無いもの、また「-」は、知見なし、あるいはデータなし

成分名／化学名	管理濃度	許容濃度
過酸化水素	-	ACGIH TWA 1ppm

保護具

呼吸器の保護具

- ・保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

- ・保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用する。

目の保護具

- ・保護眼鏡(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- ・保護衣、保護前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 無色透明液体
臭い	: 特有の刺激臭
臭いのしきい値	: データなし
pH	: 3.3~4.3 (20°C)
融点/凝固点	: -2.9°C
沸点、初留点と沸騰範囲	: 沸点と沸騰範囲 : 101°C、初留点 : データなし
引火点	: データなし (過酸化水素自体は燃焼しないが、分解すると酸素ガス及び熱を発生し、支燃性を示す。)
自然発火温度(発火点)	: データなし (過酸化水素自体は燃焼しないが、分解すると酸素ガス及び熱を発生し、支燃性を示す。)
燃焼性(固体、気体)	: データなし (過酸化水素自体は燃焼しないが、分解すると酸素ガス及び熱を発生し、支燃性を示す。)
燃焼又は爆発範囲下限、上限	: データなし (蒸気が空気と混ざっても爆発しない。)
蒸気圧	: 4.40kPa (23mmHg, 30°C)

整理番号	エコクリーンOH06 20KG/BL	作成日	2001年5月18日
2201-05	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月2日

Ver. 11.08

蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
比重	: 1.01 (20/4°C)
溶解性	: 水に対して自由な割合で溶け合う
オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
粘度 (粘性率)	: データなし
その他のデータ	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

- ・異物（重金属、アルカリ、酸化されやすい有機物等）が混入しない限り非常に安定である。

危険有害反応性の可能性

- ・自己反応性なし。

避けるべき条件

- ・高温状態

混触危険性物質

- ・アルカリ性物質
- ・還元性物質（還元剤）
- ・重金属類（白金、銀、クロム、マンガン等）及びこれを含有する金属材料

危険有害な分解生成物

- ・酸素

その他

- ・情報は得られていない。

11. 有害性情報

個々の成分の有害性情報：記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

- ・過酸化水素

《急性毒性》

経口：ラットの4データ(EU-RAR (2003))から計算で得られたLD50=311mg/kgに基づき、区分4とした。

経皮：ラットLD50=4060mg/kg(EU-RAR (2003))に基づき、区分5とした。

吸入(ガス)：GHSの定義による液体である。

吸入(蒸気)：本物質の飽和蒸気圧濃度は1980ppmであり、蒸気で行われたと考えられる試験(EU-RAR (2003))で得られた、ラットLC50=1438ppmに基づき、区分3とした。

吸入(粉じん、ミスト)：データなし

《皮膚腐食性／刺激性》

ウサギに対して3分間、1時間または4時間の適用で、皮膚の全層におよぶ壊死、あるいは腐食性との結論が記載されている(EU-RAR (2003), ECETOC Special Report 10 (1996))こと、およびEUでC; R35に分類されていることから、本物質は皮膚に対して腐食性を示すと考えられる。しかし、細分類するには情報が不足しているため、区分1A-1Cとした。

《眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性》

本物質は皮膚腐食性物質である。動物でsevereな刺激性を有し、corrosiveであるとの記載(ECETOC JACC (1993), EU-RAR (2003))がある。以上の情報に基づき、区分1とした。

《呼吸器感作性又は皮膚感作性》

呼吸器感作性：データ無し。

皮膚感作性：モルモットでは2試験で陰性の成績(EU-RAR (2003), ECETOC JACC (1993))があり、ヒトではパッチテストで多数の被験者が陰性であったと記載されている(EU-RAR (2003))。しかし、ヒトのパッチテストで158例中2例が陽性であったとの記載(EU-RAR (2003))もあり、データ不足のため分類できない。

整理番号	エコクリーンOH06 20KG/BL	作成日	2001年5月18日
2201-05	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月2日

Ver. 11.08

《生殖細胞変異原性》

ヒト経世代疫学、経世代変異原性試験、生殖細胞in vivo変異原性試験の結果が無く、マウスを用いる小核試験で陰性の結果が記載(EU-RAR (2003), ECETOC Special Report 10 (1996))され、生殖細胞 vivo遺伝毒性試験で陽性結果がないことに基づき、区分外とした。

《発がん性》

IARCで3、ACGIHでA3と分類されているが、分類年の新しいIARCの方を採用して、技術指針に従い区分外とした。

《生殖毒性》

in vitroの実験でヒト精子への影響が見られたとの記載(ECETOC JACC (1993))があり、動物試験において親動物の一般毒性に関する記述はないが、精子運動能への影響、雌の発情周期への影響、出産母獣数の減少、および出生児の体重減少が見られたとの記載(ECETOC JACC (1993))があることにに基づき、区分2とした。

《特定標的臓器毒性》(単回暴露)

動物(EU-RAR (2003))およびヒト(ACGIH (2001))において鼻、喉、気管への刺激性が記載されている。動物ではいずれも区分1のガイダンス値の範囲内の用量で肺および気管のうっ血、肺水腫、肺気腫、気管上皮の壊死の記載(EU-RAR (2003), ECETOC Special Report 10 (1996))がある。これらに基づき、区分1(呼吸器)とした。ヒトで頭痛、めまい、振戦、けいれん、昏もう、失神、および脳梗塞の記載(ACGIH (2001), EU-RAR (2003))があることにに基づき、区分1(中枢神経系)とした。

《特定標的臓器毒性》(反復暴露)

イヌにおける蒸気の吸入試験(EU-RAR (2003))で、区分1のガイダンス値範囲内の用量で肺に線維組織巣が散見され、無気肺領域と気腫領域の混在を認め、ヒトにおいても肺に刺激性を有するとの記載(ECETOC JACC (1993))があることから、区分1(肺)とした。ラット経口投与で区分2のガイダンス値範囲の用量で、白血球数、ヘマトクリット値に影響が見られ、溶血を認めた(EU-RAR (2003))ことにに基づき、区分2(血液)とした。

《吸引性呼吸器有害性》

データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

個々の成分の有害性情報：記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

- 過酸化水素

《水生環境有害性(急性)》

甲殻類(ミジンコ)の48時間EC50=2.4mg/L(EU-RAR、2003)から、区分2とした。

《水生環境有害性(慢性)》

水中で速やかに分解するため、区分外とした。

オゾン層への有害性： データなし

1 3. 廃棄上の注意

- 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制：

国連分類

該当しない

国連番号

該当しない

容器等級 : 該当しない

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制：

容器イエローラベル

該当しない

整理番号	エコクリーンOH06 20KG/BL	作成日	2001年5月18日
2201-05	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月2日

Ver. 11.08

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・容器の破損、漏れがないことをたしかめる。
- ・荷くずれ防止を確実に行う。
- ・該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・直射日光を避ける。
- ・水漏れ厳禁。
- ・横積み厳禁。
- ・夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。
- ・輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

15. 適用法令

火薬類取締法 :

対象外

高压ガス保安法 :

対象外

消防法 : () 内は、指定数量

非危険物(消防法上の非危険物)

不燃物である

毒物及び劇物取締法(毒劇物取締法) :

該当物質は含むが規定量以下のため非該当。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

労働安全衛生法 :

表示対象物質を含有する。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

通知対象物質を含有する。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

労働安全衛生法(有機溶剤中毒予防規則) :

非該当 該当成分を含有しない。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

労働安全衛生法(危険物) :

非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法 (PRTR法) :

非該当 該当物質は含有しない。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

16. その他の情報(参考文献等)

GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z7252:2009

GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
JIS Z7253:2012

GHS分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ

JACA(日本オートケミカル工業会)編集: 化学物質管理データベース

オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版 (日本オートケミカル工業会)

危険物船舶運送及び貯蔵規則 (海文堂)

整理番号	エコクリーンOH06 20KG/BL	作成日	2001年5月18日
2201-05	横浜油脂工業株式会社	改定日	2016年2月2日

Ver. 11.08

※注意

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。